

調査団体名	なごや東山の森づくりの会 (名古屋の棲息生物調査実行委員会)	団体代表者名	滝川正子
活動地域	名古屋市	団体URL	http://higashiyama-mori.sakura.ne.jp/
<p><活動内容></p> <p>「なごや東山の森づくり基本構想」に基づき、2004年に市民・企業・行政の協働組織として設立。協働により、森を守り育て、森と関わり、森づくりを生かし、次世代に森の大切さと素晴らしさを伝えることを目的に活動。具体的な活動は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 保全活動～雑木林・竹林の手入れ、湿地の再生、森の植生・生物・水質・地質などの観察と調査活動 ○ 環境教育～里山学校(スキルアップ)、子ども東山の森づくり隊(子どもが森に親しみ、森づくりを学ぶ)、生涯学習センター・小学校などの環境学習をサポート ○ 交流～イベントなどでクラフトを実施、広報紙「東山の森だより」の発行 ○ 森づくり活動拠点施設「里山の家」の運営 			
<p><連携している団体・専門家・自治体など></p> <ul style="list-style-type: none"> ○なごやの森づくりパートナーシップ連絡会に加盟 ○名古屋ため池調査実行委員会の構成団体 			
<p><今までに行った調査・研究></p> <ul style="list-style-type: none"> ○2005年「名古屋気温測定調査」(実行委員会構成団体) ○2006年～2008年「名古屋の棲息生物調査」(実行委員会構成団体) ○2007年「東山新池ため池調査」(実行委員会構成団体) 			
<p><現在直面している課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○生育、生息している生物の調査が不十分である。 ○連携できる専門機関(自然史博物館、生物多様性センターなど)がない。 ○移入種のスイレンの除去や外来種を排除する体制がない。 ○里山の生産活動から生じる生産物の売買ができない。理由はフィールドが公有地であり、都市公園法で規制があるためである。 ○里山保全再生事業は環境局と緑政土木局の領域であるが、今もって課題が共有されていない。 ○ため池、里山保全のリーダー養成。 			
<p><今後どんな情報が必要か></p> <ul style="list-style-type: none"> ○流域圏の里地里山の保全の情報と活動団体のネットワーク化への情報 ○里地里山の保全のワークショップの情報 ○自然史博物館、生物多様性センターなど設立の情報 			



竹林の手入れ作業



湿地の再生



子ども東山の森づくり隊の活動。雑木林の手入れ



名古屋の棲息生物調査